1　食品安全を主な内容とする取組　①

区　分	ガイドライン取組事項	NO.	チェック項目
ほ場環境の確認と衛生管理	ほ場やその周辺環境(土壌や汚水等)、廃棄物、資材等からの汚染防止	1	ほ場やその周辺の環境を把握していますか。
		2	ほ場及び隣接地の従前及び現在の用途について知っていますか。
		3	ほ場に吸殻、空き缶、農業資材のビニール類等が放置されていませんか。
		4	工場等が近くにある場合は、工場の排水は流入していませんか。
		5	家畜糞尿を原料とする未処理の堆肥が流出し、収穫物と接触する可能性はありませんか。
		6	堆肥は、ほ場から離れた場所に保管していますか。
		7	堆肥置場には、屋根や排汁溝が設置されていますか。
農薬の使用	無登録農薬及び無登録農薬の疑いのある資材の使用禁止(法令上の義務)	8	無登録農薬及び無登録農薬の疑いのある資材を使用していませんか。
	農薬使用前における防除器具等の十分な点検、使用後における十分な洗浄	9	農薬散布前における防除器具等の十分な点検及び、農薬散布後における十分な洗浄を実施していますか。
	農薬の使用の都度、容器又は包装の表示内容を確認し、表示内容を守って農薬を使用(法令上の義務)	10	農薬の使用の都度、容器又は包装の表示内容を確認し、表示内容を守って農薬を使用していますか。
	農薬散布時における周辺作物への影響の回避(法令上の義務)	11	農薬散布時には、周辺作物への影響を回避する取組を実施していますか。 (風向き、飛散しにくい剤形の選択、飛散防止ノズルの利用等)
収穫以降の農産物の管理	作業者の衛生管理の実施	12	作業者の衛生管理・健康管理を実施していますか。
		13	必要な時はその都度手洗いを励行していますか。
		14	履物や手袋等の清潔さの保持に努めていますか。
	収穫・運搬に使用する器具類等の衛生的な保管、取扱、洗浄	15	農機具や収穫・運搬に使用する器具類を定期的に洗浄や手入れしていますか。
		16	収穫に使用する容器(袋)を、収穫物以外のものを運ぶために使用していませんか。
		17	堆肥やその原料、生ごみ等に使用されるなど、汚染の可能性がある農機具や器具類等は、十分に洗浄し、必要に応じて消毒していますか。
		18	収穫物を運搬する場合には、運搬に使うトラック等が汚れていないか確認していますか。

1　食品安全を主な内容とする取組　②

区　分	ガイドライン取組事項	No.	チェック項目
収穫以降の農産物の管理	収穫･運搬時の汚染や異物混入を防止する対策の実施	19	作業時は、帽子や手袋を着用していますか。
		20	細かな農業資材（ピンチ、ひもなど）が収穫物に紛れ込むことがないように注意していますか。
		21	収穫した茶葉に汚れた資材や備品等が混入していないか確認していますか。

2　環境保全を主な内容とする取組　①

区　分	ガイドライン取組事項	No.	チェック項目
農薬による環境負荷の低減対策	農薬の使用残が発生しないように必要な量だけを秤量して散布液を調製	22	農薬の使用残が発生しないように、必要な量だけを秤量して散布液を調製していますか。
	病害虫･雑草が発生しにくい栽培環境づくり	23	病害虫･雑草が発生しにくい栽培環境づくりに努めていますか。
	発生予察情報の利用などにより病害虫の発生状況を把握した上での防除の実施	24	発生予察情報の利用などにより、病害虫の発生状況を把握した上で防除を実施していますか。
	農薬と他の防除手段を組み合わせた防除の実施	25	化学農薬以外の防除手段を採り入れていますか。 （生物農薬、マシン油、散水、耕種的防除等）
	農薬散布時における周辺住民等への影響の回避	26	農薬の使用量、使用回数の削減を心がけていますか。
		27	近隣に影響が少ない天候の日や時間帯での散布を心がけていますか。
		28	農薬を散布する場合、近隣住民等への事前の周知を行っていますか。
肥料による環境負荷の低減対策	土壌診断の結果や、県の施肥基準やJAの栽培暦等で示している施肥量、施肥方法等に則した施肥の実施	29	土壌診断を行い、肥料の適正な施用を行っていますか。
	堆肥を施用する場合は、外来種子等の殺滅のため、適切に堆肥化されたものを使用	30	堆肥を施用する場合は、外来雑草種子等の殺滅のため、数日間高温で発酵させた堆肥を使用していますか。

2 環境保全を主な内容とする取組 ②

区 分	ガイドライン取組事項	No.	チェック項目
土壌の管理	堆肥等の有機物の施用等による適切な土壌管理の実施	31	堆肥等の有機物の施用により、土づくりに努めていますか。
	土壌の侵食を軽減する対策の実施	32	土壌の侵食が予測される場合、侵食を軽減する対策を実施していますか。
廃棄物の適正な処理・利用	農業生産活動に伴う廃棄物の適正な処理の実施（法令上の義務）	33	資格のある産業廃棄物処理業者に廃棄物（廃プラスチック、空容器、空袋、残った農薬、農業機械等）の処理を委託していますか。
		34	産業廃棄物管理票の控えと処理業者の資格証明書の写しを入手・保管していますか。
		35	農薬散布機の洗浄液を河川に流したり、農業機械のほ場への投棄などをしないようにしていますか。
		36	産業廃棄物、資源ごみ等は、区分して保管・処分していますか。
		37	廃棄物の保管場所では、他の場所への飛散や、農作物や作業服等の汚染などが生じないように管理していますか。
		38	農薬の空き容器は、屋根のある、風雨にさらされない場所に保管し、周辺の汚染や地下、河川等への流出を防止するように管理していますか。
		39	汚染リスクの高い廃油は専用の容器に保管し、適正に処分していますか。
	農業生産活動に伴う廃棄物の不適正な焼却の回避（法令上の義務）	40	使用済み資材等の野焼きはしないようにしていますか。
	作物残さ等の有機物のリサイクルの実施	41	剪定枝等の有機物は、ほ場に残すと病害虫がまん延する場合などを除き、ほ場に還元したり、堆肥の原料等として有効利用をしていますか。
エネルギーの節減対策	施設・機械等の使用における不必要・非効率なエネルギー消費の節減	42	施設・機械等の使用において、エネルギー消費の節減に努めていますか。
生物多様性に配慮した鳥獣被害対策	鳥獣を引き寄せない取組等、有害鳥獣による農業被害防止対策の実施	43	農地が野生動物のエサ場にならない取組を実施していますか。

3　労働安全を主な内容とする取組　①

区　分	ガイドライン取組事項	No.	チェック項目
危険作業等の把握	農業生産活動における危険な作業等の把握	44	危険性の高い機械作業や作業環境、危険箇所を把握していますか。
		45	危険な場所や作業の注意を喚起していますか。
		46	事故発生時の対応方法や緊急連絡先を明記したものを掲示していますか。
		47	救急箱の設置や病院の連絡先の一覧を作成するなど、緊急時に素早く対応できるようにしていますか。
農作業従事者の制限	機械作業、高所作業又は農薬散布作業等適切に実施しなければ危険を伴う作業の従事者などに対する制限	48	機械作業、高所作業又は農薬散布作業など、適切に実施しなければ危険を伴う作業の従事者などに対する制限を設けていますか。 (作業の未熟練者、傷病者、酒気帯び者等は危険な作業に従事させない。定期的に休息を取る等)
服装及び保護具の着用等	安全に作業を行うための服装や保護具の着用、保管	49	防護服や防護装備は農薬と離して保管していますか。
		50	危険性のある作業において、ヘルメットや帽子、保護メガネ、防塵マスク等の防護装備を着用していますか。
	農薬散布時の服装	51	農薬の散布作業に従事する際は、カッパ、ゴム手袋、ゴム長靴、ゴーグル、防護マスクを必ず着用していますか。
		52	農薬の散布作業時における防護服は着用後に洗浄していますか。
作業環境への対応	農作業事故につながる恐れのある作業環境の改善等による対応の実施	53	定期的に休憩を取るように心がけていますか。
		54	危険な物や場所がある場合は、表示していますか。
		55	危険箇所の補強や、緩和の措置を行っていますか。
機械等の導入・点検・整備・管理	機械、装置、器具等の安全装備等の確認、使用前点検、使用後の整備及び適切な管理	56	機械、装置、器具等の安全装備等を確認していますか。
		57	機械等の使用前点検、使用後の整備及び適切な管理を実施していますか。
	機械、装置、器具等の適正な使用	58	危険を伴う機械を利用する際は、周囲の確認や、機器の安全利用に努めていますか。
		59	機械等の取扱説明書を理解し、適正な使用に努めていますか。

3　労働安全を主な内容とする取組　②

区　分	ガイドライン取組事項	No.	チェック項目
農薬･燃料等の管理	農薬、燃料等の適切な管理（法令上の義務を含む）	60	農薬は適切な場所に保管されていますか。
		61	農薬保管庫は危険性を警告する表示があり、鍵がかかっていますか。
		62	農薬保管庫の鍵の管理責任者が決まっていますか。
		63	農薬は購入時に入っていた容器のままで保管していますか。
		64	開封済みの農薬は密封し、他の農薬と別に保管していますか。
		65	農薬どうしがこぼれても混ざらないようにプラスチックトレー（農薬が染込まない素材容器）などに入れて保管していますか。
		66	農薬は剤型別、種類別、適用作物別（茶以外の作物も栽培している場合）に明確に区分して保管していますか。
		67	燃料は、火気がなく部外者がみだりに立ち入らない場所に保管していますか。
事故後の備え	事故後の農業生産の維持･継続に向けた保険への加入	68	ケガや死亡事故への備えとして、労災保険に加入していますか。 （法人経営体、常時5人以上の労働者を雇用する個人経営体、労働者を雇用しており自らが農業労災に特別加入している経営体は必ず加入する必要があります）。

4　農業生産工程管理の全般に係る取組

区　分	ガイドライン取組事項	No.	チェック項目
情報の記録･保管	ほ場の位置、面積等に係る記録を作成し、保存	69	ほ場の位置、面積等に係る記録を作成し、保存していますか。
	茶の出荷に関する記録の保存	70	茶の出荷に関する記録を保存していますか。 (保存期間：1年以上)
	農薬の使用に関する内容を記録し、保存	71	農薬の使用に関する以下の内容を記録、保存していますか。 ①使用日、②使用場所、③使用した農薬の種類又は名称、④単位面積当たりの使用量及び希釈倍率
	肥料の使用に関する内容を記録し、保存	72	肥料の使用に関する以下の内容を記録、保存していますか。 ①施用日、②施用場所、③施用した肥料の名称、④施用面積、⑤施用量
	苗、肥料、農薬等の購入伝票等の保存	73	苗、堆肥、土壌改良資材、肥料、農薬等の購入伝票等を保存していますか。
技術･ノウハウ(知的財産)の保護･活用	農業者自ら開発した技術･ノウハウ(知的財産)の保護･活用	74	特許、実用新案、品種登録だけでなく、意匠(特殊な形状の農産物や包装容器が該当します。)、商標、ブランド名、特殊な農法などの知的財産に該当する事項が何かを認識していますか。
	登録品種の種苗の適切な使用(法令上の義務)	75	登録されているチャ品種の枝や苗木を利用(譲渡)する場合には、権利者の許諾を得ていますか。
生産工程管理の実施	生産工程管理の実施	76	GAPの自己点検を、年1回以上行っていますか。
		77	生産部会や地域の関係者等とＧＡＰ取り組み内容の点検を行っていますか。